

福岡市議会・26 年度決算議会が開催されました！

平成 27 年 10 月 7 日～23 日まで白熱した議論が展開されました



【26 年度決算議会】日程 (27 年 10 月)

- 7 日 決算説明及び監査委員報告
- 8 日 総会質疑 (前半) 3 日間
- 13 日 総会質疑で山口議員登壇
- 14 日 第 2 分科会 (こども未来局審査)
- 15・16 日 " (教育委員会審査)
- 19・20 日 " (保健福祉局審査)
- 22 日 総会質疑 (後半)
- 23 日 意見開陳及び採決

※分科会は 5 つありそれぞれ議員が
わかれて審査しています。

決算総会での質疑内容をご紹介します！

山口議員は、10 月 13 日に登壇しました。

- ①区役所における維持管理経費の確保について
- ②入学準備金と高校入学資金について
- ③高齢社会の課題と本市の施策について

(地域包括ケアシステムについて)

これからも続く施策の提案をいたしました。

入学準備金と高校入学資金について

山口議員の提案から 26 年度、就学援助の入学準備金を入学式までに間に合うよう、手続きと支給を前倒ししました。その結果、小学・中学新一年生合計で 3,140 人が受給しています。

本市では、高校生に対しても奨学金を貸与していますが、その内、入学資金を入学式後に貸与していました。今回の指摘で、貸与手続きを前倒しすることで、**私立入学者は 2 月に、公立入学者には 3 月に、それぞれ入学資金を貸与することが、決定いたしました。**

これにより約 800 人の生徒が入学式前に準備できます。

区役所における維持管理経費について

限られた予算の中で、公園の除草や道路舗装の打ちかえ、水路の清掃費用が、毎年のように減額されています！そこで山口議員は作業箇所と量が減らないのに減額するのはおかしいのではないかと当局の考えをただしました。「区役所事業には、市民要望が密接に関わっているので今後も財源確保に取り組む」と副市長から答弁がありました。



更に 26 年度一般会計での不用額が、244 億円も膨らんでいることを指摘し、年度途中でも予算の流用で事業費が不足している区役所予算に廻すよう求めました。

高齢社会と本市の課題について

10年後、65歳以上の人口は、今より約300万人増加します。全人口比では26%です。

そこで、地域包括ケアの推進と住宅（施設入居）の課題、介護保険事業、医療費の適正のため「節薬バック」（薬剤師会推奨）の推進等を提案しました。

議会質問の詳細は、福岡市議会ホームページの議事録をご覧くださいませ。

福岡市の介護政策～一口メモ

◆いきいきセンターふくおかとは？◆

福岡市では、おおむね中学校区に57箇所、設置しています。いきいきセンターには保健師・社会福祉士・主任ケアマネージャー3名が常駐して、校区市民の皆様からの問い合わせに対応しています。

相談内容は、多岐にわたっていますが、介護保険利用や施設の紹介などの相談が多いようです。

また、殆ど電話での相談が多いですが、市民の皆様は担当地域が決まっていますので、市役所ホームページから各区役所をご覧ください。また、ご自分の問い合わせ先を確認ください。また、民生委員さんも連絡先をご存知です。



いきいきセンターは、ビルの一 cornerなどを借りて相談受け付けを行っています。

◆地域包括ケアシステムとは？◆

この制度は、2025年をめどに全国の全ての地域で定着させていく方針です。

福岡市の何らかの施設（介護保険事業所）は約19,000人分で高齢者全体の約6%しかありません。お住まいの地域で生活できるように、小学校単位で「高齢者支援会議」を始めました。

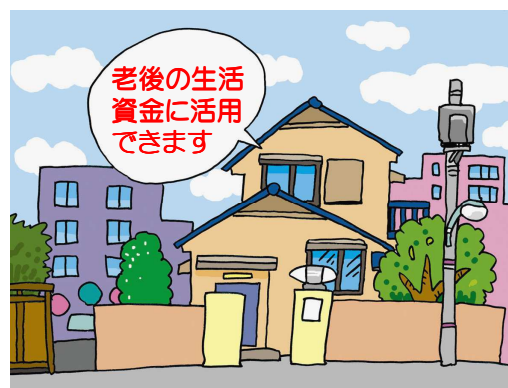
また入院等も含め医療機関・区保健福祉センター・専門職や事業者と地域住民とでこれから如何にサービス、サポートしていくか、課題を協議しています。

◆リバースモーゲージとは？◆

この制度は、土地や家屋を所有していて、生活費である年金や預貯金が少ないことで、生活に不安を感じている高齢者のために、現在の住宅と土地を担保に生活資金を低金利で借り受けることができます。

返済は、もし死亡等があった場合に不動産を売却して清算いたします。

福岡市社会福祉協議会が、受付窓口になっています。TEL 092-751-1121（市）と各区社会福祉協議会があります。連絡先は、社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい

TEL: 711-4728 FAX: 741-4597 <議員控室>

山口つよし

福岡市生まれ(57歳)

H15.4 初当選

H27.4 4期目当選

